サーバ組込み型 統合ログ管理ソリューション

製品ラインナップ

RSA enVision powered by Express5800 は、スモールスタートに最適なQUICK Model（クイックモデル）やスタンドアロン環境向けのESシリーズ、複数拠点環境に対応したハイエンドモデルのLSシリーズがあり、お客様のビジネスの成長と規模に合わせてニーズや要件にあう最適なモデルを選択いただけます。またスタンドアロン環境においては、ハードウェアの入れ替えをすることなく、上位機種へのアップグレードを行うことができます。

■ スタンドアロン環境での導入

モデル	QUICK Model	ES-560	ES-1060	ES-2560	ES-5060	ES-7560
説 明	スタンドアロン型 統合ログ管理アプライアンス					
1秒あたりのイベント処理件数（EPS）	500 EPS	500 EPS	1,000 EPS	2,500 EPS	5,000 EPS	7,500 EPS
最大対応デバイス数※	50	100	200	400	750	1,250
ストレージ	900GB（内蔵）	900GB（内蔵）	900GB（内蔵）	900GB（内蔵）	900GB（内蔵）	900GB（内蔵）
					外部ストレージを使用	

※ 管理対象サーバに3種類のログがあった場合は、デバイス数は3つとなります。
● LSシリーズ他、各モデルの詳しい情報についてはお問い合わせください。

製品仕様

CPU	インテル® Xeon® プロセッサー E5620 (2.40GHz)×2
メモリ	8GB
内蔵HDD	900GB × 2（RAID-1構成）
標準ネットワークインタフェース	1000BASE-T LANコネクタ ×4
冗長構成	内蔵HDD、電源ユニット、ファン（ホットプラグ対応）
外形寸法（W×D×Hmm）	445 × 721 × 87 ※突起物/フロントベゼルを含まない

重量	21kg
消費電力	360W
希望小売価格（税別）	2,540,000円（50デバイス）～ 別途、保守ライセンスの購入が必要

NECのサポート体制

NECでは、導入後もアプライアンス「RSA enVision powered by Express5800」を安心してご利用いただくために、様々なバックアップや保守サービス、情報を提供しています。

標準保証内容

- **無償保証期間**　製造日より1年間
- **保守形態**

オンサイト保守　パーツ保証　エクスプレス通報サービス*

- **受付時間**　月曜日～金曜日の9:00～17:00 ※国民の祝日および年末年始などのNEC指定日を除く
- **修理提供時間**　月曜日～金曜日の9:00～17:00 ※国民の祝日および年末年始などのNEC指定日を除く
- **対応日**　原則翌営業日対応

※15時までに修理が必要と判断した場合、翌営業日対応とします。
判断が15時までになされない場合は、翌々営業日の対応となります。
※訪問の目安 一 翌営業日：北海道、本州、四国、九州、沖縄
翌々営業日：離島
※天候、交通事情等で指定の日時にお伺いできない場合があります。

- **対象装置**　本体および本体内蔵オプション
- **留意事項**　1年保証を実施するにはユーザ登録が必要です。
インターネット（ClubExpressサイト）よりユーザ登録を行ってください
※Linuxについては、NECより購入した「Linuxサービスセット」購入時のみ対象となります。
その他OSについては、サービス対象外となります。

有償保守サービス

Express5800ハードウェア保守パッケージ
ExpressSupportPack G2

Express5800シリーズのハードウェア保守をパック化。
標準保証を下記にアップグレードし、安心の運用をお届けします。

パッケージ内容
- **ハードウェア保守**
  - ・サービス期間を本体ご購入日から最大5年まで延長
  - ・当日2時間対応のオンサイト保守
  - ・予兆監視可能なエクスプレス通報サービスを標準添付

サービス内容

RSA enVision powered by Express5800ソフトウェアサポートサービス

最新のセキュリティ脆弱性対策や機能改善アップデートを取得、更新することがセキュリティ対策の強化につながります。RSA enVision powered by Express5800ソフトウェアサポートサービスは、セキュリティ対策に向けたモジュールや機能改善アップデートの提供、ご質問やトラブルなど「困った時」に、NECが技術的サポートを提供するサービスです。本サービスをご購入&ご契約いただくことで、ソフトウェアサポートを受けることが可能となります。

UDSパートナー

NECは、RSA enVision powered by Express5800とパートナー各社の製品やサービスと連携を推進し、お客様のコンプライアンス対応・セキュリティ強化を実現する「UDS※パートナープログラム」を創設しました。

※UDS（Universal Device Support）　独自アプリケーションなどのログを収集・分析できるようにするための仕組み。

安全に関するご注意　ご使用の前に、各種マニュアル（「使用上のご注意」、「取り扱いの手引き」、「取扱説明書」、「ユーザーズガイド」等）に記載されております使用上のご注意や安全上のご注意をよくお読みの上必ずお守りください。 誤った使用方法は火災・感電・けがなどの原因となることがあります。

RSA enVision powered by Express5800に関するお問合せは、
ファーストコンタクトセンター　TEL 03-3455-5800
受付時間9:00～12:00　13:00～17:00　月曜日～金曜日（祝日を除く）
番号はよくお確かめの上おかけください。

お問い合せ、ご用命は下記の販売店へ

●RSA enVisionは、EMC Corporationの米国における商標です。本紙に記載の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。
●本カタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。
●本製品には、有寿命部品（CD-RW/DVD-ROMドライブ、ハードディスクドライブ、電源、ファン）が含まれています。長時間の連続使用など使用状態によっては早期に交換が必要になります。
●無停電電源装置やディスクアレイコントローラのバッテリは、使用することで消耗し、交換が必要になる部品です。
●本製品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

日本電気株式会社　〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1（NEC本社ビル）　2012年2月現在　Cat.No. E06-12020547J

Empowered by Innovation　NEC

RSA enVision™ powered by Express5800
アールエスエー　エンビジョン

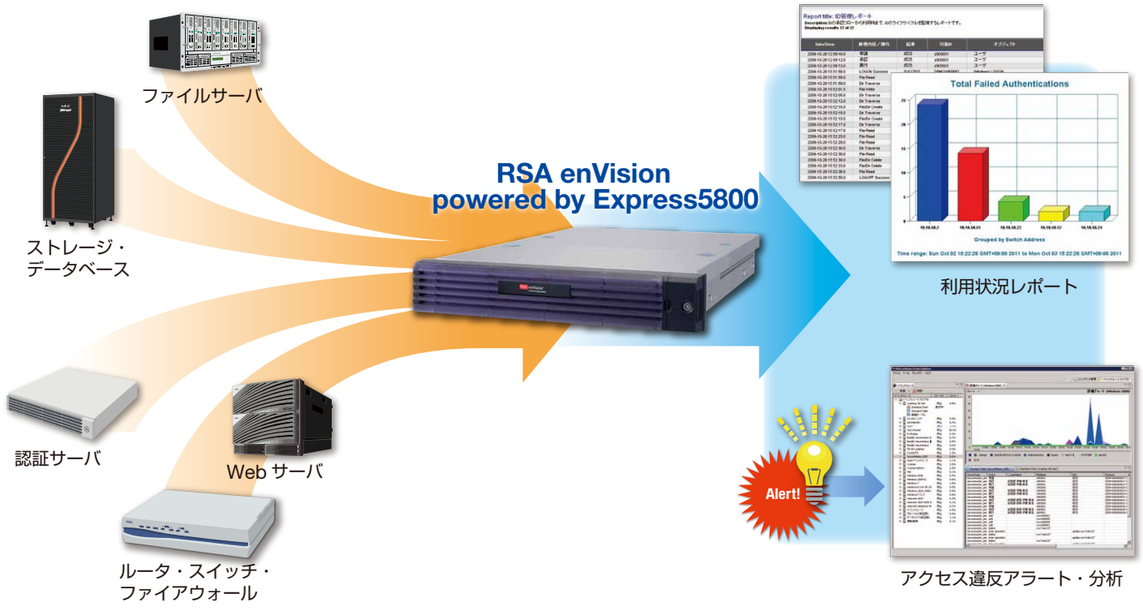
サーバ組込み型 統合ログ管理ソリューション

http://www.nec.co.jp/rsaenvision/

いつ、誰が、どのように、アクセスしているか。
ログ管理によるITシステムの見える化、脅威の把握は、効果的な情報セキュリティ対策の第一歩です

自社のITシステムが、どのように利用され、その結果何が起こっているか ―― ご存知でしょうか？
事業継続、サイバー攻撃・情報漏えいへの対策、コンプライアンス、コスト削減など、企業の課題は多岐にわたり、そのどれもが高い優先度での対応を求められています。一方でITシステムは、自社保有環境からクラウド環境やデータセンターへの移行、モバイル端末の利用など、大きな運用形態の変化の中にあります。
ログからITシステムを知ることで、こうした課題に対応し、費用対効果を最大限に引き出すソリューションをご提供します。

複雑化するITシステム全体で何が起きているかを見える化します



柔軟性、拡張性、信頼性のある統合ログ管理環境を提供

スモールスタートからデータセンター対応まで、
システム規模に応じたスケーラビリティをご提供します。

大容量のログを高速で収集すると同時に、分析を実行する安心のパフォーマンス。
収集したログは約10%～30%に圧縮保管し、ストレージ使用量を軽減します。

コンパクトなインシデント対応を実現

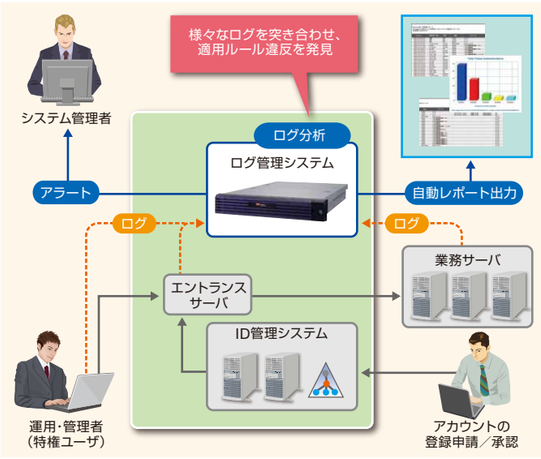
サイバー攻撃や情報漏えい事故の発生が日常的に報じられる中、情報セキュリティ対策への関心は一層高まっています。しかし、様々な対策をいくつも重ねる結果となりがちで、これでは費用がいくらあっても足りません。
ログによるITシステムのモニタリングは、各機器が元々持っている情報を活用することでITシステムに対する脅威を把握し、インシデントを発生させないための「予防」と、万が一発生してしまった場合の「被害の最小化」を無理なく実現します。

データセンターやクラウド環境を安心・安全に活用

データセンター、クラウドといった環境へシステムの移行が進む中、業務システムやデータの集約により、業務システム間でのインシデントの拡散など、セキュリティリスクの増大が懸念されています。

本ソリューションでは、様々なログからITシステムの利用状況を「見える化」することで、どこで、何が起きているかを把握。さらに、ルールに沿った運用となっているかを確認し、不正を発見します。これにより、平時の予防対策と、有事の適切なインシデント対応を両立することが可能です。

例えば、複数の業務サーバが集約されたシステムでは、システム管理者の操作がより重要となります。しかし、作業ミスや不正行為が検知できないといった問題が見受けられます。
この場合、認証やネットワークアクセスに関するログと、業務サーバ上の操作ログとを組み合わせ、アラートやレポートといった形で、システム管理者の正当性を証明する一方で、運用ルール違反の検知を行います。



コンプライアンスはCSRの要

日本版SOX法やPCI DSS（クレジットカードセキュリティ基準）といった法規制への対応は、CSR（企業の社会的責任）において企業が当たり前に行うべきものとして定着してきました。

本ソリューションでは、テンプレートの使用により、法規制への対応において必要となるコンプライアンス・レポートを容易に作成いただけます。
また、付属の分析ツールにより、特定のサーバやユーザをキーとした横断的な利用状況の分析が可能です。